

京都府立西乙訓高等学校英語科 CAN-DOリスト

COURSE		学年								
国際特進		1 年生	2 年生	3 年生	3 年生	3 年生	3 年生	3 年生	3 年生	
国際教養		1 年生	2 年生	3 年生	3 年生	3 年生	3 年生	3 年生	3 年生	
領域		1	2	3	4	5	6	7	8	9
聞くこと		○ある事実や状況を簡潔に説明したアナウンスやガイド音声などを聞いて、おおまかな内容や必要な情報を得ることができる。 ○対話の流れから、相手の意図がわかる。	○身の回りのものの説明について、辞書など多くの支援を活用すれば必要な情報を聞き取ることができる。 ○家族間や友人間など、日常生活の中での短い対話から、話題を聞き取ることができる。	○身の回りのものの説明について、辞書などの一定の支援を活用すれば必要な情報を聞き取ることができる。 ○家族間や友人間など、日常生活の中での短い対話から、やりとりの話題を聞き取ったり、両者の立場を理解することができる。	○身の回りのものの説明について、辞書などの支援を活用しなくても必要な情報を聞き取ることができる。 ○家族間や友人間など、日常生活の中での短時間の長さの対話から、両者間の問題点等を客観的に捉えることができる。	○場内や機内アナウンスなどを聞いて、大まかな内容がわかる。 ○同年代の生徒の行うスピーチを聞いて、話し手の立場や主張の内容、理由などを理解することができる。	○商品やサービスの説明を聞いて、その魅力やセールスポイントなどがわかる。 ○短い対話を聞いて、両者の言い分や対話の流れがわかる。	○学校の講義やプレゼンテーションを聞いて、内容のポイントや話し手の意図、主張を捉えることができる。 ○立場の違う二者の話し合いを聞いて、両者の主張の共通点や相違点を整理することができる。	○国内のことなど、予備知識があれば、ニュースの大まかな内容を聞き取ることができる。 ○三者によるディスカッションを聞いて、それぞれの主張や立場を整理しながら、話し合いの流れを捉えることができる。	○海外の大学の講義の内容について、辞書を使ったり、録音したものを何度か聞き返すなど一定の支援を得れば、大まかな内容を聞き取ることができる。 ○海外のテレビニュース（映像有）から、何があったかを聞き取ることができる。
	読むこと	○身近な事柄について書かれた一段落の説明文から、辞書を使ったり解説を聞いたりして多くの支援を活用すれば、筆者の伝えたいメッセージやおおまかな内容を読み取ることができる。	○特定の出来事を説明した文章から、ストーリーの流れを読み取ることができる。 ○ある程度の社会性のある文章を、辞書など一定の支援を活用すれば、おおまかな内容を読み取ることができる。	○辞書や解説など一定の支援を活用すれば、論旨が明確に書かれている説明文から、その論旨の展開や内容のポイントを読み取ることができる。	○辞書や解説など一定の支援を活用すれば、論旨が明確に書かれている説明文から、その論旨の展開や内容のポイントを読み取ることができる。	○辞書や解説など一定の支援を活用すれば、身近な話題の説明文やエッセイなどから、段落ごとの要点や筆者の主張を読み取ることができる。	○国際的な社会問題についての論説文やエッセイから、辞書などそれほど支援を活用しなくても概要や主張を読み取ることができる。	○論旨が明確でない論説文やエッセイの一段落から、ほとんど支援を活用しなくても、その背後に隠れた筆者のメッセージや内容を読み取ることができる。	○複数の段落からなる論説文やエッセイについて、辞書など一定の支援を活用すれば段落ごとのつながりや全体の論旨展開を読み取ることができる。 ○一定の支援を活用すれば、英字新聞や雑誌記事から、必要な情報を得たり、事実の流れを読み取ったりすることができる。	○高度な専門知識を要する文章について、辞書などある程度の支援を活用すれば必要な情報を読み取ることができる。 ○長い小説をほぼ支援を活用しなくても読むことができる。
話すこと	やり取り	○簡単な挨拶から始め、趣味のことや日常生活のことについて会話を続けることができる。 ○相づちを打ったり、聞き返したりするなどの方法で、コミュニケーションを円滑にすることができる。	○日常的な話題について、多くの支援を活用すれば、他者からの質問に答えたり、意見や感想を交換したりして、会話を続けることができる。	○ゆっくり話してもらうなど、少しの支援を活用すれば、馴染みのあることについて、ネイティブスピーカーと英語で短いやり取りを続けることができる。	○ゆっくり話してもらうなど、少しの支援を活用すれば、馴染みのあることについて、ネイティブスピーカーと英語でやり取りを長く続けることができる。	○身近な話題について、簡単な討論や議論を行うことができる。	○身近な話題について、きちんとした形式で討論をしたり、議論を続けたりすることができる。	○意見の分かれやすい社会性の高い話題について、自分の立場を明確にしたうえで、他者（立場の違う参加者）の意見にも耳を傾け議論を行うことができる。	○意見の分かれやすい社会性の高い話題について、自分の立場を明確にしたうえで、自分の立場を明確にしたうえで、他者（相手）の意見にも耳を傾け、建設的な議論を進めることができる。	○自分の意見を主張するだけでなく、様々な角度から多角的に問題を検証し、よりよい解決策を導くための議論をすることができる。
	発表	○自分自身や家族、友人など親しい人物や身の回りの物事について、例文や定型文などの支援を活用すれば、短い簡単な説明をすることができる。	○日常的なことや身近な社会問題について、意見と理由を簡潔に説明することができる。 ○社会的なことについて、あらかじめ用意した原稿を基に、発音や流暢さに注意してスピーチをすることができる。	○日常的な話題について、論理性に注意して意見を述べることができる。 ○社会的なことについて、あらかじめ用意した原稿を基に、ノンバーバルスキルにも意識を向けながらスピーチを行うことができる。	○身近な話題の中で、様々な意見に分かれるようなことについて、自分の立場を明らかにしたうえでプレゼンテーションをすることができる。 ○新しい情報や考えを提供する、魅力的なプレゼンテーションをすることができる。	○意見の分かれやすい社会性の高い話題について、多くの支援を活用すれば、比較や例示、特徴を取り上げるなどして、より説得力のあるスピーチを行うことができる。 ○高いノンバーバルスキルを用いて、魅力的なプレゼンテーションやスピーチができる。	○意見の分かれやすい社会性の高い話題について、一定の支援を活用すれば、比較や例示、特徴を取り上げるなどして、より説得力のあるスピーチを行うことができる。	○社会性の高い話題について、ポスターやスライドなどの視覚的補助を活用しながら、聞き手を納得させるようなプレゼンテーションを行うことができる。	○国際的な社会問題について、深い考察と十分な下調べをしたうえで、論理的なプレゼンテーションを行うことができる。	○国際的な社会問題について、深い考察と十分な下調べをしたうえで、論理的かつ独自性の強い内容の魅力的なプレゼンテーションを行うことができる。
書くこと		○身近な物事や人物、実体験について、辞書など多くの支援を活用すれば、簡単な感想を加えて、短い段落の説明文を書くことができる。	○実体験のことについて、辞書などの一定の支援を活用すれば、より詳しい情報や理由、感想を加えて、深い内容の文章を書くことができる。	○意見の分かれやすい話題について、辞書など多くの支援を活用すれば、自分の立場を明らかにしたうえで、理由や詳しい説明、情報を加えて論理的な文章を書くことができる。	○意見の分かれやすい話題について、辞書などの一定の支援を活用すれば、自分の立場を明らかにしたうえで、理由や詳しい説明、情報を加えて論理的な文章を書くことができる。	○意見の分かれやすい話題について、辞書など多くの支援を活用すれば、比較や例示、特徴を取り上げるなどして、より多くの読み手を引きつける文章を書くことができる。	○意見の分かれやすい話題について、辞書など多くの支援を活用すれば、比較や例示、特徴を取り上げるなどして、多角的に事象を捉え、より多くの読み手を引きつける文章を書くことができる。	○社会性の高い話題について、一定の支援を活用すれば、自分の立場を明らかにしたうえで、となり合う文や段落どうしの論理的関連性を意識して、魅力的な文章を書くことができる。	○社会性の高い話題について、ほぼ支援を活用することなく、自分の立場を明らかにしたうえで、となり合う文や段落どうしの論理的関連性を意識して、魅力的な文章を書くことができる。	○導入の仕方を工夫して、様々な話題の、より魅力的な文章をほぼ支援を活用することなく書くことができる。